

注3

大学番号：私179

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

愛知大学 文学部 心理学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 愛知大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画課

職名・氏名 課長・高橋正樹
教学企画係長・尾崎貴俊

電話番号 052-937-8163

（夜間） 052-937-8111

F A X 052-937-8215

e-mail kikaku@ml.aichi-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

文学部

<心理学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	P.3~P.6
2. 授業科目の概要	P.7~P.12
3. 施設・設備の整備状況、経費	P.13
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	P.14~P.16
5. 教員組織の状況	P.17~P.36
6. 留意事項等に対する履行状況等	P.37
7. その他全般的事項	P.38~P.40

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人 愛知大学

(2) 大 学 名

愛知大学

(3) 大学の位置

〒441-8522

愛知県豊橋市町畑町字町畑 1 番地の 1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(カワイ シンイチ) 川井 伸一 (平成27年11月15日)		
学 長	(カワイ シンイチ) 川井 伸一 (平成27年11月15日)		
学 部 長	(ヒグチ ヨシハル) 樋口 義治 (平成27年4月1日)		
学科長等	未定	(カマクラ トシミツ) 鎌倉 利光 (平成30年4月1日)	未定としていた学科長について、平成30年4月1日付で就任した(30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
文学部 心理学科 学士(心理学)	文学関係	4年	55人	— 年次人	220人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	55人	—人	—人	—人	—人	—人	—人	—人	0.56倍	文学部では、学部全体入試と学科・コース別入試を併用しており、学部全体入試で入学した学生は、1年次では便宜的に人文社会学科に所属し、2年次進級時に学科・専攻別振り分けを行い、心理学専攻となる学生は心理学科所属となり、心理学科入学定員55人を充たす予定。平成30年度の学部全体入試結果は以下の通りとなる。 志願者数： 1,366人 受験者数： 1,335人 合格者数： 568人 入学者数： 217人
	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		
	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]		
志願者数	418	—								
	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		
	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]		
受験者数	406	—								
	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		
	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]		
合格者数	149	—								
	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		
	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]		
B 入学者数	31	—								
	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		
	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]		
入学定員超過率 B/A	0.56									

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	31 [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	学部全体入試で入学した学生は、1年次では便宜的に人文社会学科に所属し、2年次進級時に心理学専攻となる学生は、転入により心理学科所属となり、心理学科入学定員55人を充たす予定。
2 年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3 年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4 年次					/		[] ()	[] ()	
計							[] (-)	[] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	31 人	0 人	平成30年度	0 人	- 人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合 計	31 人	0 人				

(注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{31} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数(a)}}{\text{平成33年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<文学部 心理学科>

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
英語	Communicative English I	1前	1								2
	Communicative English II	1後	1								2
	Reading I	1前	1								5
	TOEIC	1後	1								5
	Practical English I	2前	1								8
	Practical English II	2後		1							8
	Reading II	2前	1								5
	Reading III	2後		1							5
	Current English I	2前		2							1
	Current English II	2後		2							1
	Communication Skills I	1・2・3・4		2							1
	Communication Skills II	1・2・3・4		2							1
	Communication Skills III	1・2・3・4		2							1
	Communication Skills IV	1・2・3・4		2							1
	入門中国語 I	1前		1		2					4
	入門中国語 II	1後		1		2					4
中国語	基礎中国語 I	1前		1		2					4
	基礎中国語 II	1後		1		2					4
	応用中国語 I	2前		1		1					3
	応用中国語 II	2後		1		1					3
	総合中国語 I	2前		1							1
	総合中国語 II	2後		1							1
	中国語会話(初級) I	1前		1							1
	中国語会話(初級) II	1後		1							1
	中国語会話(中級) I	2前		1							1
	中国語会話(中級) II	2後		1							1
	コミュニケーション中国語 I A	3前		2							1
	コミュニケーション中国語 I B	3後		2							1
	コミュニケーション中国語 II A	3前		2							1
	コミュニケーション中国語 II B	3後		2							1
外国語分野 フランス語	入門フランス語 I	1前		1							1
	入門フランス語 II	1後		1							1
	基礎フランス語 I	1前		1							3
	基礎フランス語 II	1後		1							3
	応用フランス語 I	2前		1							2
	応用フランス語 II	2後		1							2
	総合フランス語 I	2前		1							1
	総合フランス語 II	2後		1							1
	フランス語会話(初級) I	1前		1							1
	フランス語会話(初級) II	1後		1							1
	フランス語会話(中級) I	2前		1							1
	フランス語会話(中級) II	2後		1							1
	コミュニケーションフランス語 I A	3前		2							1
	コミュニケーションフランス語 I B	3後		2							1
	コミュニケーションフランス語 II A	3前		2							1
	コミュニケーションフランス語 II B	3後		2							1
ドイツ語	入門ドイツ語 I	1前		1							1
	入門ドイツ語 II	1後		1							1
	基礎ドイツ語 I	1前		1							2
	基礎ドイツ語 II	1後		1							2
	応用ドイツ語 I	2前		1							2
	応用ドイツ語 II	2後		1							2
	総合ドイツ語 I	2前		1							1
	総合ドイツ語 II	2後		1							1
	ドイツ語会話(初級) I	1前		1							1
	ドイツ語会話(初級) II	1後		1							1
	ドイツ語会話(中級) I	3前		1							1
	ドイツ語会話(中級) II	3後		1							1

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
英語	Communicative English I	1前	1								2
	Communicative English II	1後	1								2
	Reading I	1前	1								5
	TOEIC	1後	1								5
	Practical English I	2前	1								8
	Practical English II	2後	1								8
	Reading II	2前	1								5
	Reading III	2後	1								5
	Current English I	2前		2							1
	Current English II	2後		2							1
	Communication Skills I	1・2・3・4		2							1
	Communication Skills II	1・2・3・4		2							1
	Communication Skills III	1・2・3・4		2							1
	Communication Skills IV	1・2・3・4		2							1
中国語	入門中国語 I	1前		1		2					4
	入門中国語 II	1後		1		2					4
	基礎中国語 I	1前		1		2					4
	基礎中国語 II	1後		1		2					4
	応用中国語 I	2前		1		1					3
	応用中国語 II	2後		1		1					3
	総合中国語 I	2前		1							1
	総合中国語 II	2後		1							1
	中国語会話(初級) I	1前		1							1
	中国語会話(初級) II	1後		1							1
	中国語会話(中級) I	2前		1							1
	中国語会話(中級) II	2後		1							1
	コミュニケーション中国語 I A	3前		2							1
	コミュニケーション中国語 I B	3後		2							1
	コミュニケーション中国語 II A	3前		2							1
	コミュニケーション中国語 II B	3後		2							1
外国語分野 フランス語	入門フランス語 I	1前		1							1
	入門フランス語 II	1後		1							1
	基礎フランス語 I	1前		1							3
	基礎フランス語 II	1後		1							3
	応用フランス語 I	2前		1							2
	応用フランス語 II	2後		1							2
	総合フランス語 I	2前		1							1
	総合フランス語 II	2後		1							1
	フランス語会話(初級) I	1前		1							1
	フランス語会話(初級) II	1後		1							1
	フランス語会話(中級) I	2前		1							1
	フランス語会話(中級) II	2後		1							1
	コミュニケーションフランス語 I A	3前		2							1
	コミュニケーションフランス語 I B	3後		2							1
	コミュニケーションフランス語 II A	3前		2							1
	コミュニケーションフランス語 II B	3後		2							1
ドイツ語	入門ドイツ語 I	1前		1							1
	入門ドイツ語 II	1後		1							1
	基礎ドイツ語 I	1前		1							2
	基礎ドイツ語 II	1後		1							2
	応用ドイツ語 I	2前		1							2
	応用ドイツ語 II	2後		1							2
	総合ドイツ語 I	2前		1							1
	総合ドイツ語 II	2後		1							1
	ドイツ語会話(初級) I	1前		1							1
	ドイツ語会話(初級) II	1後		1							1
	ドイツ語会話(中級) I	3前		1							1
	ドイツ語会話(中級) II	3後		1							1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通教育科目	ロシア語	入門ロシア語Ⅰ	1前	1							1
		入門ロシア語Ⅱ	1後	1							1
		基礎ロシア語Ⅰ	1前	1							1
		基礎ロシア語Ⅱ	1後	1							1
		応用ロシア語Ⅰ	2前	1							1
		応用ロシア語Ⅱ	2後	1							1
	韓国・朝鮮語	総合ロシア語Ⅰ	2前	1							1
		総合ロシア語Ⅱ	2後	1							1
		入門韓国・朝鮮語Ⅰ	1前	1							2
		入門韓国・朝鮮語Ⅱ	1後	1							2
		基礎韓国・朝鮮語Ⅰ	1前	1							2
		基礎韓国・朝鮮語Ⅱ	1後	1							2
	ポルトガル語	応用韓国・朝鮮語Ⅰ	2前	1							1
		応用韓国・朝鮮語Ⅱ	2後	1							1
		総合韓国・朝鮮語Ⅰ	2前	1							1
		総合韓国・朝鮮語Ⅱ	2後	1							1
		入門ポルトガル語Ⅰ	1前	1							1
		入門ポルトガル語Ⅱ	1後	1							1
	外国語分野	基礎ポルトガル語Ⅰ	1前	1							1
		基礎ポルトガル語Ⅱ	1後	1							1
		日本語・表現Ⅰ	1前	1							1
		日本語・表現Ⅱ	1後	1							1
		日本語・論文技術(基礎)Ⅰ	1前	1							1
		日本語・論文技術(基礎)Ⅱ	1後	1							1
		日本語・総合Ⅰ	2前	1							1
		日本語・総合Ⅱ	2後	1							1
		日本語・論文技術(応用)Ⅰ	2前	1							1
		日本語・論文技術(応用)Ⅱ	2後	1							1
		アカデミック日本語Ⅰ	3前	2							1
		アカデミック日本語Ⅱ	3後	2							1
	外国理解	ビジネス日本語Ⅰ	3前	2							1
		ビジネス日本語Ⅱ	3後	2							1
		世界の言語Ⅰ	2前	2							2
		世界の言語Ⅱ	2後	2							2
		ラテン語Ⅰ	2・3・4	2							1
		ラテン語Ⅱ	2・3・4	2							1
		ギリシャ語Ⅰ	2・3・4	2							1
		ギリシャ語Ⅱ	2・3・4	2							1
		海外セミナーⅠ	1・2・3・4	2		1					
		海外セミナーⅡ	1・2・3・4	2		1					
		海外セミナーⅢ	1・2・3・4	2		1					
		海外セミナーⅣ	1・2・3・4	2		1					
数理・情報分野	数理・情報分野	外国理解Ⅰ	1・2・3・4	2		1					
		外国理解Ⅱ	1・2・3・4	2		1					
		外国理解Ⅲ	1・2・3・4	2		1					
		外国理解Ⅳ	1・2・3・4	2		1					
		教養数学	1・2・3・4	2							1
		数理科学	1・2・3・4	2							1
		確率入門	1・2・3・4	2							1
		統計入門	1・2・3・4	2							1
		情報倫理	1・2・3・4	2							1
		マルチメディア表現	1・2・3・4	2							2
		ネットワーク演習	1・2・3・4	2							1
		社会データ分析入門	1・2・3・4	2							1
		プログラミング	1・2・3・4	2							3
		情報の科学	1・2・3・4	2							1
		情報と社会	1・2・3・4	2							1
		情報総合演習	1・2・3・4	2							6

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通教育科目	ロシア語	入門ロシア語Ⅰ	1前	1							1
		入門ロシア語Ⅱ	1後	1							1
		基礎ロシア語Ⅰ	1前	1							1
		基礎ロシア語Ⅱ	1後	1							1
		応用ロシア語Ⅰ	2前	1							1
		応用ロシア語Ⅱ	2後	1							1
	韓国・朝鮮語	総合ロシア語Ⅰ	2前	1							1
		総合ロシア語Ⅱ	2後	1							1
		入門韓国・朝鮮語Ⅰ	1前	1							2
		入門韓国・朝鮮語Ⅱ	1後	1							2
		基礎韓国・朝鮮語Ⅰ	1前	1							2
		基礎韓国・朝鮮語Ⅱ	1後	1							2
	ポルトガル語	応用韓国・朝鮮語Ⅰ	2前	1							1
		応用韓国・朝鮮語Ⅱ	2後	1							1
		総合韓国・朝鮮語Ⅰ	2前	1							1
		総合韓国・朝鮮語Ⅱ	2後	1							1
		入門ポルトガル語Ⅰ	1前	1							1
		入門ポルトガル語Ⅱ	1後	1							1
	外国語分野	基礎ポルトガル語Ⅰ	1前	1							1
		基礎ポルトガル語Ⅱ	1後	1							1
		日本語・表現Ⅰ	1前	1							1
		日本語・表現Ⅱ	1後	1							1
		日本語・論文技術(基礎)Ⅰ	1前	1							1
		日本語・論文技術(基礎)Ⅱ	1後	1							1
		日本語・総合Ⅰ	2前	1							1
		日本語・総合Ⅱ	2後	1							1
		日本語・論文技術(応用)Ⅰ	2前	1							1
		日本語・論文技術(応用)Ⅱ	2後	1							1
		アカデミック日本語Ⅰ	3前	2							1
		アカデミック日本語Ⅱ	3後	2							1
	外国理解	ビジネス日本語Ⅰ	3前	2							1
		ビジネス日本語Ⅱ	3後	2							1
		世界の言語Ⅰ	2前	2							2
		世界の言語Ⅱ	2後	2							2
		ラテン語Ⅰ	2・3・4	2							1
		ラテン語Ⅱ	2・3・4	2							1
		ギリシャ語Ⅰ	2・3・4	2							1
		ギリシャ語Ⅱ	2・3・4	2							1
		海外セミナーⅠ	1・2・3・4	2		1					
		海外セミナーⅡ	1・2・3・4	2		1					
		海外セミナーⅢ	1・2・3・4	2		1					
		海外セミナーⅣ	1・2・3・4	2		1					
数理・情報分野	数理・情報分野	外国理解Ⅰ	1・2・3・4	2		1					
		外国理解Ⅱ	1・2・3・4	2		1					
		外国理解Ⅲ	1・2・3・4	2		1					
		外国理解Ⅳ	1・2・3・4	2		1					
		教養数学	1・2・3・4	2							1
		数理科学	1・2・3・4	2							1
		確率入門	1・2・3・4	2							1
		統計入門	1・2・3・4	2							1
		情報倫理	1・2・3・4	2							1
		マルチメディア表現	1・2・3・4	2							2
		ネットワーク演習	1・2・3・4	2							1
		社会データ分析入門	1・2・3・4	2							1
		プログラミング	1・2・3・4	2							3
		情報の科学	1・2・3・4	2							1
		情報と社会	1・2・3・4	2							1
		情報総合演習	1・2・3・4	2							6

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通教育科目	自然分野	物質の科学	1・2・3・4	2							1
		地球の科学	1・2・3・4	2							1
		宇宙の科学	1・2・3・4	2							1
		生命の科学	1・2・3・4	2							1
		環境の科学	1・2・3・4	2							1
		科学技術史	1・2・3・4	2							1
		現代技術と社会	1・2・3・4	2							1
		地球環境問題	1・2・3・4	2							2
		自然環境と地理	1・2・3・4	2							1
		動物行動学	1・2・3・4	2		1					
	社会分野	健康科学	1・2・3・4	2							1
		スポーツ工学	1・2・3・4	2							1
		トレーニング科学	1・2・3・4	2							1
		歴史学	1・2・3・4	2							3
		考古学	1・2・3・4	2							1
		地理学	1・2・3・4	2							2
		社会学	1・2・3・4	2							2
		政治学	1・2・3・4	2							1
		経済学	1・2・3・4	2							1
		法学	1・2・3・4	2							1
	人文分野	経営学	1・2・3・4	2							1
		憲法学	1・2・3・4	2							1
		レクリエーション論	1・2・3・4	2							1
		ジェンダー論	1・2・3・4	2							2
		哲学	1・2・3・4	2							1
		論理学	1・2・3・4	2							1
		宗教学	1・2・3・4	2							2
		心理学	1・2・3・4	2		1	1				
		文化人類学	1・2・3・4	2							2
		現代の思想	1・2・3・4	2							2
		民俗学	1・2・3・4	2							4
専門教育科目	総合	スポーツ文化論	1・2・3・4	2							1
		日本事情Ⅰ	1・2・3・4	2							1
		日本事情Ⅱ	1・2・3・4	2							1
		文学	1・2・3・4	2							2
		日本語学	1・2・3・4	2							2
		古典の世界	1・2・3・4	2		1					3
		言語と文化	1・2・3・4	2		1					1
		芸術論	1・2・3・4	2							1
		総合科目	1・2・3・4	2							1
		総合演習	2・3・4	2							1
	体育分野	キャリアデザイン基礎	1後	2							1
		キャリアデザイン応用	2前	2							3
		キャリアデザイン特殊講義	2・3・4	2							1
		スポーツ・健康演習	1後	2							9
		スポーツ実技Ⅰ	2・3・4	1							6
		スポーツ実技Ⅱ	2・3・4	1							4
	学部必修	文学部総合研究	1前	2		1					18
		卒業論文	4通	8		2	3				
	学部選択必修	入門講義(現代文化)	1前	2							4
		入門講義(社会学)	1前	2							1
		入門講義(心理学)	1前	2		1	1				
		入門講義(歴史・地理学)	1前	2							6
		入門講義(日本語日本文学)	1前	2							2
		入門講義(欧米言語文化)	1前	2							3
		入門演習(現代文化)	1後	2							3
		入門演習(社会学)	1後	2							4
		入門演習(心理学)	1後	2		2	2				
		入門演習(歴史・地理学)	1後	2							3
		入門演習(日本語日本文学)	1後	2							2
		入門演習(欧米言語文化)	1後	2							2

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通教育科目	自然分野	物質の科学	1・2・3・4	2							1
		地球の科学	1・2・3・4	2							1
		宇宙の科学	1・2・3・4	2							1
		生命の科学	1・2・3・4	2							1
		環境の科学	1・2・3・4	2							1
		科学技術史	1・2・3・4	2							1
		現代技術と社会	1・2・3・4	2							1
		地球環境問題	1・2・3・4	2							2
		自然環境と地理	1・2・3・4	2							1
		動物行動学	1・2・3・4	2					1		
	社会分野	健康科学	1・2・3・4	2							1
		スポーツ工学	1・2・3・4	2							1
		トレーニング科学	1・2・3・4	2							1
		歴史学	1・2・3・4	2							3
		考古学	1・2・3・4	2							1
		地理学	1・2・3・4	2							2
		社会学	1・2・3・4	2							2
		政治学	1・2・3・4	2							1
		経済学	1・2・3・4	2							1
		法学	1・2・3・4	2							1
	人文分野	経営学	1・2・3・4	2							1
		憲法学	1・2・3・4	2							1
		レクリエーション論	1・2・3・4	2							1
		ジェンダー論	1・2・3・4	2							2
		哲学	1・2・3・4	2							3
		論理学	1・2・3・4	2							1
		宗教学	1・2・3・4	2							2
		心理学	1・2・3・4	2		1	1				
		文化人類学	1・2・3・4	2							2
		現代の思想	1・2・3・4	2							2
		民俗学	1・2・3・4	2							3
専門教育科目	総合	スポーツ文化論	1・2・3・4	2							1
		日本事情Ⅰ	1・2・3・4	2							1
		日本事情Ⅱ	1・2・3・4	2							1
		文学	1・2・3・4	2							2
		日本語学	1・2・3・4	2							2
		古典の世界	1・2・3・4	2		1					2
		言語と文化	1・2・3・4	2		1					1
		芸術論	1・2・3・4	2							1
		総合科目	1・2・3・4	2							1
		総合演習	2・3・4	2							1
	体育分野	キャリアデザイン基礎	1後	2							1
		キャリアデザイン応用	2前	2							3
		キャリアデザイン特殊講義	2・3・4	2							1
		スポーツ・健康演習	1後	2							9
		スポーツ実技Ⅰ	2・3・4	1							6
		スポーツ実技Ⅱ	2・3・4	1							4
	学部必修	文学部総合研究	1前	2		1					12
		卒業論文	4通	8		2	3				
	学部選択必修	入門講義(現代文化)	1前	2							5
		入門講義(社会学)	1前	2							1
		入門講義(心理学)	1前	2		1	1				
		入門講義(歴史・地理学)	1前	2							7
		入門講義(日本語日本文学)	1前	2							2
		入門講義(欧米言語文化)	1前	2							3
		入門演習(現代文化)	1後	2							3
		入門演習(社会学)	1後	2							4
		入門演習(心理学)	1後	2		2	2				
		入門演習(歴史・地理学)	1後	2							3
		入門演習(日本語日本文学)	1後	2							2
		入門演習(欧米言語文化)	1後	2							2

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学 科 必 修	心理学研究法	3前	2			1					
	心理学基礎実験Ⅰ	2前	2				3				1
	心理学基礎実験Ⅱ	2後	2				3				1
	心理アセスメント	2前	2			1					
	心理統計	2後	2				1				
	心理学史	1後	2				1				
	心理学演習Ⅰ	3前	2			2	3				
	心理学演習Ⅱ	3後	2			2	3				
	心理学演習Ⅲ	4前	2			2	3				
	心理学演習Ⅳ	4後	2			2	3				
	認知心理学	2前		2			1				
	行動心理学	2前		2			1				
	発達心理学	2後		2		1					
	比較心理学	2前		2			1				
	臨床心理学	2後		2		1					
	健康心理学	2後		2		1					
専 門 教 育 科 目	教育心理学	3前		2		1					
	生理心理学	3後		2			1				
	学校心理学	3前		2		1					
	産業心理学	3前		2							1
	認知科学	3前		2			1				
	応用行動分析	3前		2			1				
	心理療法	3後		2		1					
	心理技術実習	3後		1			2				
	行動療法	3前		2							1
	社会心理学	2前		2							1
学 科 選 択											
隣 接 ・ 関 連 科 目	GIS概論	2前		2							1
	まちづくりとデータ分析	2前		2							1
	地域資源論	3前		2							1
	英米の地域と文化	2前		2							1
	多文化共生論	3前		2							1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学 科 必 修	心理学研究法	3前	2			1					
	心理学実験Ⅰ	2前	2				3				1
	心理学実験Ⅱ	2後	2				3				1
	心理的アセスメント	2前	2			1					
	心理学統計法	2後	2				1				
	心理学概論	1後	2			1					
	心理演習Ⅰ	3前	2			2	3				
	心理演習Ⅱ	3後	2			2	3				
	心理演習Ⅲ	4前	2			2	3				
	心理演習Ⅳ	4後	2			2	3				
専 門 教 育 科 目	知覚・認知心理学	2前		2			1				
	学習・言語心理学	2前		2			1				
	比較心理学	2前		2			1				
	臨床心理学概論	2前		2		1					
	発達心理学	2後		2		1					
	健康・医療心理学	2後		2		1					
	人体の構造と機能及び疾病	2前		2			1				
	教育・学校心理学	3前		2		1					
	産業・組織心理学	3前		2							1
	認知科学	3前		2			1				
学 科 選 択	障害者・障害児心理学	3前		2			1				
	行動療法	3前		2							1
	社会・集団・家族心理学	3前		2							1
	感情・人格心理学	3前		2		1					
	神経・生理心理学	3後		2							1
	心理学的支援法	3後		2		1					
	心理技術実習	3後		1			2				
	福祉心理学	3後		2		1					
	司法・犯罪心理学	3後		2							1
	精神疾患とその治療	3後		2		1					
隣 接 ・ 関 連 科 目	公認心理師の職責	4前		2		1					
	関係行政論	4前		2		1					
	心理実習	4通		2		1					
	GIS概論	1前		2							1
	まちづくりとデータ分析	2前		2							1
隣 接 ・ 関 連 科 目	地域資源論	3前		2							1
	英米の地域と文化	2前		2							1
	多文化共生論	3前		2							1

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- 平成30年度カリキュラムの見直しに伴い、「Practical EnglishⅡ」「ReadingⅢ」を「選択」から「必修」に変更。
- 平成30年度授業計画策定(クラス増)により、「プログラミング」の担当教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- 平成30年度授業計画策定(クラス増)により、「情報総合演習」の担当教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任6」に変更。
- 平成30年度授業計画策定(科研費事業の推進)により、「動物行動学」の専任教員の配置を「准教授1」から「助教1」に変更。
- 平成30年度授業計画策定(クラス増)により、「哲学」の担当教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- 平成30年度授業計画策定(本務校都合)により、「民俗学」の担当教員の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更。
- 平成30年度授業計画策定(学外研修)により、「古典の世界」の担当教員の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- 平成30年度授業計画策定(輪番担当科目)により、「文学部総合研究」の担当教員の配置を「兼任・兼任18」から「兼任・兼任12」に変更。
- 平成30年度授業計画策定(内容充実)により、「入門講義(現代文化)」の担当教員の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更。
- 平成30年度授業計画策定(内容充実)により、「入門講義(歴史・地理学)」の担当教員の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任7」に変更。
- 公認心理師法施行に伴い、「専門教育科目 学科必修」における次の科目名称を変更。
 「心理学基礎実験Ⅰ」→「心理学実験Ⅰ」/「心理学基礎実験Ⅱ」→「心理学実験Ⅱ」/「心理アセスメント」→「心理学的アセスメント」/「心理統計」→「心理学統計法」/「心理学史」→「心理学概論」/「心理学演習Ⅰ」→「心理演習Ⅰ」/「心理学演習Ⅱ」→「心理演習Ⅱ」/「心理学演習Ⅲ」→「心理学演習Ⅲ」/「心理学演習Ⅳ」→「心理演習Ⅳ」
- 平成30年度授業計画策定(科研費事業の推進)により、「心理学概論(旧心理学史)」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- 公認心理師法施行に伴い、「専門教育科目 学科必修」における次の科目について、公認心理師を目標としない学生への対応・配慮から、学科選択に移動し、一部科目名称を変更。
 「認知心理学」→「知覚・認知心理学」/「行動心理学」→「学習・言語心理学」/「比較心理学(名称変更なし)」/「臨床心理学」→「臨床心理学概論」/「発達心理学(名称変更なし)」/「健康心理学」→「健康・医療心理学」
- 公認心理師法施行に伴い、「専門教育科目 学科選択」における次の科目について、統廃合及び名称変更。
 「教育心理学」→「学校心理学」/「教育・学校心理学」/「生理心理学」→「神経・生理心理学」/「産業心理学」→「産業・組織心理学」/「応用行動分析」→「障害者・障害児心理学」/「心理療法」→「心理学的支援法」/「社会心理学」→「社会・集団・家族心理学」
- 平成30年度授業計画策定(科研費事業の推進)により、「神経・生理心理学(旧生理心理学)」の担当教員の配置を専任教員「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- 平成30年度授業計画策定(公認心理師法施行に伴う整理)により、「社会・集団・家族心理学(旧社会心理学)」の配当年次を「2前」から「3前」に変更。
- 公認心理師法施行に伴い、「専門教育科目 学科選択」に次の科目を追加。
 人体の構造と機能及び疾病(2前 2単位)、感情・人格心理学(3前 2単位)、福祉心理学(3後 2単位)、司法・犯罪心理学(3後 2単位)、精神疾患とその治療(3後 2単位)、公認心理師の職責(4前 2単位)、関係行政論(4前 2単位)、心理実習(4通 2単位)
- 公認心理師法施行に伴い、「専門教育科目 学科選択」に追加した科目について次のとおり担当予定を記載。
 「人体の構造と機能及び疾病」の専任教員の配置を「准教授1」として追加。
 「感情・人格心理学」の専任教員の配置を「教授1」として追加。
 「福祉心理学」の専任教員の配置を「教授1」として追加。
 「司法・犯罪心理学」の担当教員の配置を「兼任・兼任1」として追加。
 「精神疾患とその治療」の専任教員の配置を「教授1」として追加。
 「公認心理師の職責」の専任教員の配置を「教授1」として追加。
 「関係行政論」の専任教員の配置を「教授1」として追加。
 「心理実習」の専任教員の配置を「教授1」として追加。
- 平成30年度カリキュラムの見直しに伴い、「GIS概論」の配当年次を「2前」から「1前」に変更。

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
21 科目	187 科目	0 科目	208 科目	23 科目 [2]	192 科目 [5]	0 科目 [0]	215 科目 [7]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目 【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 【該当なし】

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{208} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が，「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	愛知大学短期大学部 (必要面積2,000㎡) と共用			
	校 舎 敷 地	21,698㎡	96,750㎡	0㎡	118,448㎡				
	運動場用地	27,199㎡	72,846㎡	0㎡	100,045㎡				
	小 計	48,897㎡	169,596㎡	0㎡	218,493㎡				
	そ の 他	2,128㎡	8,787㎡	0㎡	10,915㎡				
	合 計	51,025㎡	178,383㎡	0㎡	229,408㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	愛知大学短期大学部 (必要面積2,350㎡) と共用			
		(99,160㎡)	(29,599㎡)	(0㎡)	(128,759㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	演習室2室を一般教育 研究室としたため (30)		
		117室	83 85室	9室	18室 (補助職員 15人)	7室 (補助職員 5人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		文学部 心理学科			8 室				
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	機械・器具、標本につ いては、大学全体での 共用分	
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル					
		冊	種	〔うち外国書〕					点
	文学部 心理学科	6,112 [1,702] (5,912 [1,682])	81 [60] (81 [60])	0 [0] (0 [0])	234 (214)	20,250 (20,201)	16 (16)		
	計	6,112 [1,702] (5,912 [1,682])	81 [60] (81 [60])	0 [0] (0 [0])	234 (214)	20,250 (20,201)	16 (16)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
		12,783㎡		1,850		1,261,335			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		5,633㎡		テニスコート7面、プール1面、ゴルフ練習場1面、弓道場等					
(8)経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の 見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費等は学部全 体 図書購入費には電子 ジャーナル・データベースの整 備費（運用コスト含む）を 含む。
		教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	1,653千円	1,653千円	1,653千円	
		共 同 研 究 費 等	1350千円	1350千円	設備購入費	4,000千円	6,000千円	6,000千円	
	学生1人当 り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		1,140千円	1,000千円	1,010千円	1,020千円	－ 千円	－ 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、雑収入等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大 学 の 名 称	愛知大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
文学部	年	人	年次 人	人		倍			
人文社会学科	4	290	—	1,160	学士 (文学)	1.21	平成17年度	愛知県豊橋市町畑町 字町畑1番地の1	平成30年4月 入学定員変更
心理学科	4	55	—	220	学士 (社会学)	0.56	平成30年度	同上	
経済学部									
経済学科	4	330	—	1,320	学士 (経済学)	1.17	平成元年度	愛知県名古屋市中村 区平池町4丁目60番6	
国際コミュニケーション学部									
英語学科	4	115	—	460	学士 (外国語)	1.18	平成10年度	同上	
国際教養学科	4	115	—	460	学士 (国際教養 学)	1.15	平成10年度	同上	平成30年4月 名称変更
法学部									
法学科	4	315	—	1,260	学士 (法学)	1.17	平成元年度	同上	
経営学部									
経営学科	4	250	—	1,000	学士 (経営学)	1.15	平成元年度	同上	
会計ファイナンス学科	4	125	—	500	学士 (経営学)	1.15	平成17年度	同上	
現代中国学部									
現代中国学科	4	180	—	720	学士 (現代中国 学)	1.15	平成9年度	同上	
地域政策学部									
地域政策学科	4	220	—	880	学士 (地域政策 学)	1.24	平成23年度	愛知県豊橋市町畑町 字町畑1番地の1	
法学研究科									
公法学専攻 博士後期課程	3	3	—	9	博士 (法学)	0	平成13年度	愛知県名古屋市中村 区平池町4丁目60番6	
私法学専攻 博士後期課程	3	5	—	15	博士 (法学)	0	昭和38年度	同上	
経済学研究科									
経済学専攻 博士前期課程 (修士課程)	2	25	—	50	修士 (経済学)	0	昭和28年度	同上	
経済学専攻 博士後期課程	3	5	—	15	博士 (経済学)	0	昭和53年度	同上	

経営学研究科									
経営学専攻 博士前期課程 (修士課程)	2	15	—	30	修士 (経営学)	0.76	昭和52年度	同上	
経営学専攻 博士後期課程	3	5	—	15	博士 (経営学)	0	昭和54年度	同上	
中国研究科									
中国研究専攻 博士前期課程 (修士課程)	2	15	—	30	修士 (中国研究)	0.59	平成3年度	同上	
中国研究専攻 博士後期課程	3	15	—	45	博士 (中国研究)	0.79	平成6年度	同上	
国際コミュニケーション研究科									
国際コミュニケーション専攻 修士課程	2	15	—	30	修士 (国際コミュニケーション)	0.06	平成14年度	同上	
文学研究科									
日本文化専攻 博士前期課程 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (日本文化)	0.15	平成3年度	愛知県豊橋市町畑町 字町畑1番地の1	
日本文化専攻 博士後期課程	3	2	—	6	博士 (日本文化)	0.16	平成6年度	同上	
地域社会システム専攻 博士前期課程 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (地域社会システム)	0.1	平成3年度	同上	
地域社会システム専攻 博士後期課程	3	2	—	6	博士 (地域社会システム)	0	平成5年度	同上	
欧米文化専攻 博士前期課程 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (欧米文化)	0	平成3年度	同上	
欧米文化専攻 博士後期課程	3	2	—	6	博士 (欧米文化)	0	平成6年度	同上	
法務研究科									
法務専攻 専門職学位課程	3	20	—	60	法務博士 (専門職)	0.36	平成16年度	愛知県名古屋市東区 筒井二丁目10番31号	
大 学 の 名 称	愛知大学短期大学部								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
ライフデザイン総合学科	年	人	年次 人	人	短期大学士 (ライフデザイン総合)	1.18	平成17年度	愛知県豊橋市町畑町 字町畑1番地の1	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

- ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
- ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
- ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

(1)－① 担当教員表

(1)－② 担当教員表に関する変更内容

※個人情報を含む内容であることから掲載いたしておりません。

- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
6	3
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)
4	3	0	0	7	5	3	0	1	9	4	3	0	1	8
(5)	(3)	(0)	(0)	(8)						[0]	[0]	[0]	[1]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
- ・ **「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
70	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{8}{7} = \boxed{114.28} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況（B）}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況 【該当なし】

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
合計（D）					後任補充状況の集計（E）			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 【該当なし】

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
合 計（F）					後任補充状況の集計（G）			
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計 【該当なし】

合 計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）			
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 【該当なし】

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 【該当なし】

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等 【該当なし】

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成30年4月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。
その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<文学部 心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
・ 専門教育科目の卒業要件単位数 62単位以上 - a 学部必修 10単位必修 - b 学部選択必修 4単位必修 - c 学科必修 26単位必修 - d 学科選択 10単位修得 - e 学部選択必修、学科必修、学科選択、人文社会学科科目から 12単位修得	公認心理師法施行に伴い、カリキュラムを変更したため、以下の通り変更した。 ・ 専門教育科目の卒業要件単位数 62単位以上 - a 学部必修 10単位必修 - b 学部選択必修 4単位必修 - c 学科必修 20単位必修 - d 学科選択 24単位修得 - e 学部選択必修、学科必修、学科選択、人文社会学科科目から 4単位修得

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 ・ 学習・教育支援センターを置き、センターの一事業としてFDの取組みを行っている。別紙「学習・教育支援センター規程」参照。 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） ・ 平成29年度は、豊橋センター委員会と豊橋・名古屋の合同センター委員会とを以下のとおり実施した。 第1回豊橋センター委員会：4/27 出席委員4名（欠席0名） 第2回豊橋センター委員会：6/1 出席委員3名（欠席1名） 第3回豊橋センター委員会：6/15 出席委員4名（欠席0名） 第4回豊橋センター委員会：6/29 出席委員4名（欠席0名） 第5回豊橋センター委員会：7/13 出席委員3名（欠席1名） 第6回豊橋センター委員会：9/21 出席委員4名（欠席0名） 第7回豊橋センター委員会：12/14 出席委員4名（欠席0名） 第8回豊橋センター委員会：1/25 出席委員3名（欠席1名） 第9回豊橋センター委員会：2/15 出席委員3名（欠席1名） 第1回合同センター委員会：4/13 出席委員10名（欠席2名） 第2回合同センター委員会：4/27 出席委員12名（欠席0名） 第3回合同センター委員会：5/18 出席委員12名（欠席0名） 第4回合同センター委員会：6/15 出席委員12名（欠席0名） 第5回合同センター委員会：6/29 出席委員11名（欠席1名） 第6回合同センター委員会：12/14 出席委員8名（欠席4名） 第7回合同センター委員会：2/15 出席委員11名（欠席1名） c 委員会の審議事項等 ・ 学習・教育支援センター規程第11条において、委員会の審議事項は次のとおり規定されている。（センター委員会の審議事項） 第11条 センター委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。 (1) センターの事業に関する事項 (2) センターの予算・決算に関する事項 (3) その他、センターの目的を達成するために必要な事項 ② 実施状況 a 実施内容 【FD】 ・ 学生による授業評価アンケート ・ 授業改善報告書の作成 ・ 大学教育問題全学講演会の開催

- ・ 学外研修会開催情報の提供と研修参加助成

【SD】

- ・ 職員SD研修会の開催

b 実施方法

【FD】

- ・ 学生による授業評価アンケート：
各学期1回ずつ、担当教員が最低1科目についてアンケートを実施し、結果をWebで公開。
- ・ 大学教育問題全学講演会の開催：
毎年4月に全学部教員を対象に、毎回テーマを変えて学外からの講師を招いて講演会を開催。
- ・ 授業改善報告書の作成：
学外のFD研修に参加した教職員に報告書を作成してもらい、研修で得た各種情報等を学内教職員が共有できるよう、ホームページ上で報告書を配信する。
- ・ 学外研修会開催情報の提供と研修参加助成：
学習・教育支援センター委員会から、学外のFD研修情報を教授会を通じてアナウンスし、希望者に対する旅費等の助成を行う。

【SD】

- ・ 職員SD研修会の開催：年間2回テーマを設定し、講師を招き、講演を行う。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

【FD】

- ・ 学生による授業評価アンケート：
春学期実施状況：全学専任教員255人（学外研修者4人含）中214人が実施、非常勤教員273人中250人が実施。
秋学期実施状況：全学専任教員255人（学外研修者4人含）中216人が実施、非常勤教員274人中239人が実施。
- ・ 大学教育問題全学講演会の開催：
平成29年度は、「実りあるアクティブ・ラーニングと高大連携を目指して」というテーマで4/13（木）に実施し、参加者148人。
- ・ 授業改善報告書の作成：
学外研修会に参加した教職員が報告書を作成、平成29年度は事務職員含め6件を報告。
- ・ 学外研修会開催情報の提供と研修参加助成：平成29年度は16件紹介、内教員への助成件数5件。

【SD】

- ・ 職員SD研修会の開催：
第1回テーマ「大切な個人情報を守るために大学職員が知っておくべきこと」、参加者は専任事務職員85名
第2回テーマ「障害を抱える学生の対応について」、参加者は専任事務職員87名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

【FD】

- ・ 学生による授業評価アンケート：
集計結果に対して、分析等を各担当教員にコメントしてもらい、授業内容の改善につながるような仕組みを整えている。
- ・ 大学教育問題全学講演会の開催：
大学教育及び授業改善に関する実践例や研究報告の講演を通じてFD活動の推進を図っている。
- ・ 授業改善報告書の作成：
教職員全員が学外研修の報告を閲覧できるよう、ホームページ上にアップしている。
これを授業改善の参考にする。
- ・ 学外研修会開催情報の提供と研修参加助成：
よりよい授業のあり方を考察し、授業内容・教授法等の工夫・改善のための契機とする。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 「② 実施状況」のとおり、毎年学期毎に実施。
授業の終盤3回（平成29年度は、7/3～21、12/19～1/19）の内の1回を利用して、アンケートを実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 「② 実施状況」のとおり、ホームページ上に実施結果と教員のコメントを公開し、学生も閲覧可能。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・ 心理学科は、学問としての心理学に関わる教養・知識を提供することにとどまらず、実験・分析技術及び実務的応用力を修得し、心理学を学んだ者として、多様な現代社会に生きる上で国際的に通用する人材を養成するための教育課程を編成するという趣旨により設置された。この趣旨の通りに、平成30年4月から心理学科を設置し、滞りなく教育を実施している。入学者選抜について、文学部では、学科・コース別入試及び学科・コースを限定しない全体入試を含む選抜試験を計画通りに実施し、平成30年入試では、心理学科の入学定員55名に対して、31名の入学者を得ている。なお、入学定員の不足数については、全体入試により入学した学生の中から補充する。当初設置計画においては授業科目の概要について変更し、そこでは、平成29年9月に施行された公認心理師法に基づき、公認心理師の取得に必要な授業科目を設置した。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・ 年1回、6月頃に公表している。

b 公表方法

- ・ 自己点検・評価報告書を刊行し、大学ホームページ上で公開している。

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 平成33年度に大学基準協会の評価を受ける予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無

(☒ 有 ・ ☐ 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期

(平成30年 6月 1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

- ・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。